食創造科学科教授・吉田久美先生が中日文化賞を受賞

食健康科学部食創造科学科教授・吉田久美先生が「アントシアニンによる青い花の色の発現機構の研究」により、第79回中日文化賞を受賞しました。

天然物化学を専門とする吉田先生は、中学・高校時代から実験の授業が好きで、名古屋大学農学部へ進学。その後、花や豆などに含まれる色素の研究に打ち込み、これまでも定説を覆す研究成果を発表してきました。今回受賞に至った研究では、長年にわたり謎とされていた青色発色のメカニズムを化学的に解明。現在は小豆の色素に関する研究にも力を注いでいます。吉田先生は「まだまだ研究したい課題が残っています。今でも手を動かして実験することが好き」と語られました。

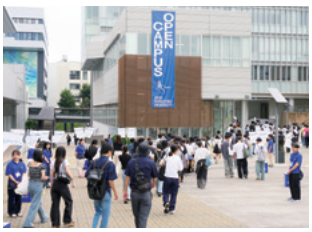


夏 オープンキャンパス

7月18日・19日に夏のオープンキャンパスを長久手・星が丘両キャンパスで開催しました。2日間で約5000人の高校生や保護者の皆さまにご来場いただき、各会場は多くの来場者でにぎわいました。

夏のオープンキャンパス限定で実施した入試対策講座では、参加者が入試本番に向けた対策への理解を深めました。また、入試説明にも多数の方にご参加いただき、満席となる時間帯もあるなど、高い関心がうかがえました。

当日は学科・専攻まるわかり講座や学び体験、キャンパスツアーなどのさまざまな企画を通して、来場者にとって大学生活を身近に感じる機会となりました。



中学校オープンスクール

5月30日にオープンスクールが開催されました。5月にもかかわらず、30℃にせまる暑さを感じる一日となりましたが、200人を超える来校者でたいへんな盛況となりました。当日は、説明会や体験授業、クラブ見学、個別相談など校内でさまざまな企画が行われました。来校者の皆さんからは、「素敵な学校であることを体感しました。」「盛りだくさんの内容でとても充実していました。」との声をいただきました。あわせて、「生徒の皆さんが明るく親切で素敵な学校だと感じました。」「生徒の皆さんがやさしく話しかけてくれて、心がポカポカになりました。」という当日お手伝いをしてくれた生徒に関する感想も多く見られました。クラブ体験や校内案内等で、元気で明るい淑徳生を感じてもらうことができたようです。



中2 自然体験研修

5月7日・8日に行われた中学2年生の日間賀島自然体験研修では、干物作りや魚のつかみ取りに挑戦しました。砂遊びや海水の掛け合い、ビーチボールなども楽しみました。夜の交流会ではクラス毎に練習したスタンツを披露した後、迫力満点の島太鼓を鑑賞し、最後は全員でフォークダンスを踊りました。翌日はスタンプラリーで島を散策しました。普段は当たり前のインターネットから離れて、島の豊かな自然や文化を肌で感じる貴重な体験を通して生徒たちはクラスメイトと親睦を深めることができました。



中3 ニュージーランド ターム留学

中学3年生10人がターム留学に参加しました。1月16日に出国して約2ヶ月間、ニュージーランドに滞在。現地校の授業、ホームステイで素敵な経験や出会いがあり、充実した日々を過ごしました。

（参加生徒の感想）

最初はホームシックになりましたが、英語だけの生活に徐々に慣れることができました。現地の友達やホストファミリーと交流を深め、楽しい日々でした。文化や価値観の違いを学んだほか、英語力が向上し、自ら考えて行動する力がついたと思います。ターム留学は、本当にかけがえのない経験であり、ニュージーランドでの思い出は私の宝物です。



理科探究旅行

7月22日からの3日間、愛知・岐阜・福井・石川方面への理科探究旅行を実施しました。事前学習では核融合科学研究所の沼波政倫氏より最先端研究について伺い、期待を高めて現地へ向かいました。

福井県立大学や金沢大学等では、第一線の研究者や大学院生から直接お話を伺う貴重な機会を得ました。最先端の現場に触れた生徒たちは、科学の面白さだけでなく、途切れない探究心を持って挑み続ける研究という道の厳しさも実感したようです。また、高度な研究に触れる中で自身の現在地や課題を客観的に見つめ直し、これから目指すべき姿を描く良き機会となりました。

この経験で得た広い視野と刺激を、今後の学習や生き方に活かしてくれることを期待しています。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



夏山登山

愛知淑徳で百年以上の歴史を誇る伝統行事である夏山登山。今年は7月27日～30日の3泊4日の行程で、北アルプスの燕岳（つばくろだけ）に生徒36人、教員6人で登頂しました。雨模様の天気で景色は残念でしたが、野生のライチョウやサルなども見ることができ、貴重な山小屋での生活も経験して普段の便利な生活のありがたさを感じることもできました。毎年コースを変えて実施し、中学1年生から継続して参加するリピーターも多い行事で、集団生活の経験や山を登頂する達成感など、様々なことを経験できる教育効果の非常に高い行事です。引率教員の苦労も多い行事ですが、また来年度も無事故で実施し、生徒の成長につなげていければと思います。



愛知淑徳OG管弦楽団特別演奏会

3月1日、管弦楽（オーケストラ）部のOGが中心となって愛知淑徳OG管弦楽団特別演奏会を開催しました。発起人は、コロナ禍で定期演奏会が中止となり、失意の中で引退した6年前の高2メンバーです。幅広い世代のOGに声を掛け、演奏会を実現させました。会場は幻の第10回定期演奏会を開催するはずであった愛知県芸術劇場コンサートホール。

演奏するはずであったサン＝サーンスの交響曲第3番「オルガン付」を、当時の指揮者・鈴木竜哉先生の指揮のもとで演奏するという「特別演奏会」でした。出演者、会場スタッフ、聴衆と歴代管弦楽部OGが大結集し、愛知淑徳の良さが凝縮されたコンサートとなりました。



愛知淑徳高校吹奏楽部OG会 第4回OG演奏会

愛知淑徳高校吹奏楽部OG演奏会が8月23日、ウィルあいちにて開催されました。2000年の第1回、2019年の第2回、2023年の第3回に続き、今回で第4回を迎えました。指揮は長年本校吹奏楽部の指導を担ってこられた服部篤典先生です。第1部と第3部はOG72人、第2部は中高生50人による演奏が披露され、アンコールは総勢122人による演奏で幕を閉じました。OGは大学2年生から、卒業して33年が経つ大先輩まで。地元愛知をはじめ全国各地、さらには海外からも集結しました。高校時代に音楽をともにした仲間が、長い年月を経て再び集い、現役中高生とともに一つのステージをつくり上げる。世代を超えて音楽を通じたつながりを確かめる、愛知淑徳ならではの演奏会となりました。

